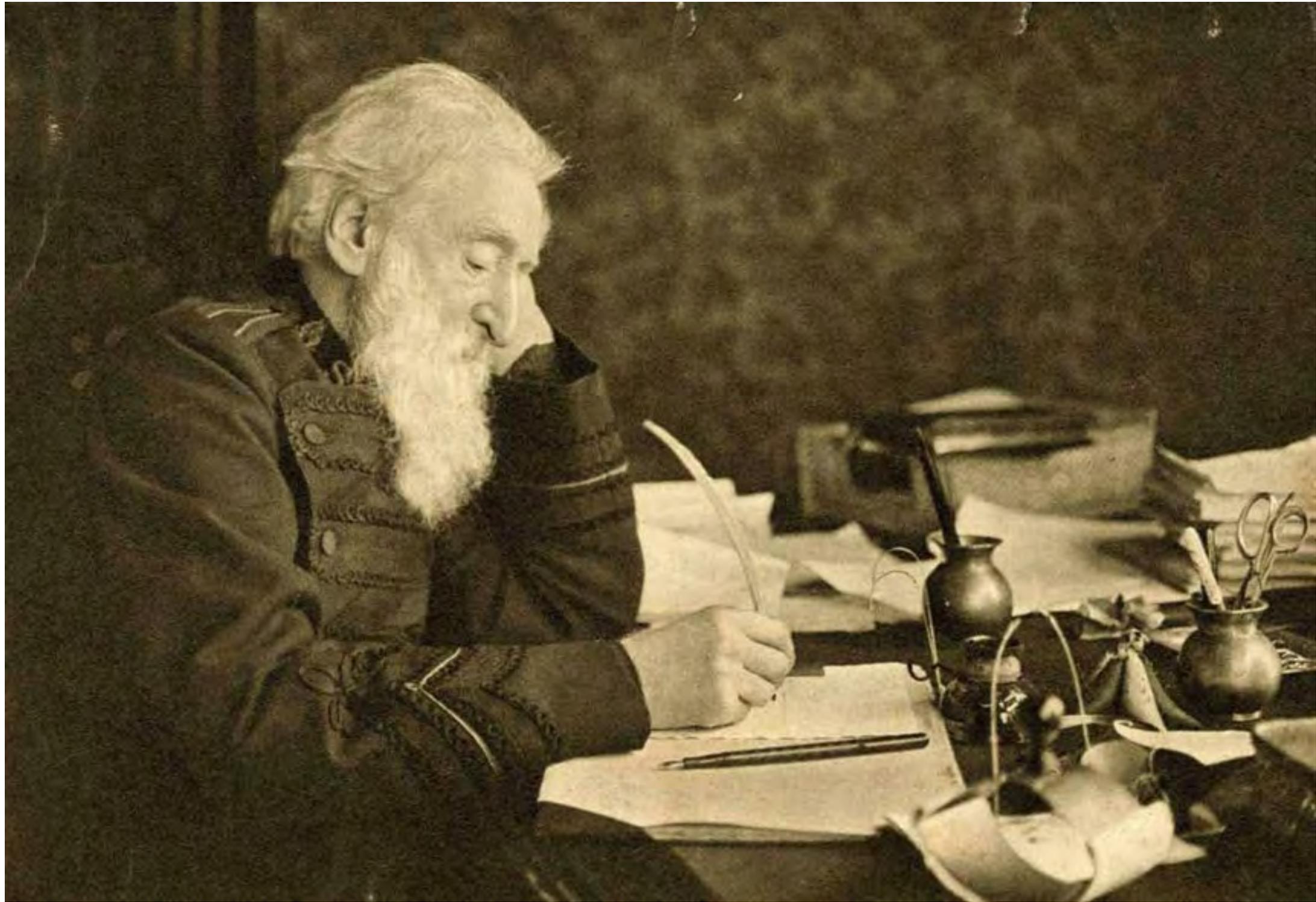




others

**TRADE
FOR
HOPE**



CLASS OF SERVICE

This is a full-rate Telegram or Cablegram unless its deferred character is indicated by a suitable sign above or preceding the address.

TELEGRAM

SIGNS

DL = Day Letter
NM = Night Message
NL = Night Letter
LC = Deferred Cable
NLT = Cable Night Letter

MINUTES IN TRANSIT

FULL-RATE	DAY LETTER

O-T-H-E-R-S

救世軍の創設者であるウィリアム・ブース大將は、かつて世界中の士官たちに、自分たちの活動の主眼を思い起こさせるために電報を打ったと言われています。その電報には、ただ一言、

^{アザーズ}
"OTHERS" (他者)という言葉が書かれていました。



OTHERS は、貧困と闘うためにフェアトレードの原則を用いた救世軍の取り組みです。過去 25 年間、職人たちの生活を向上させるための仕事を創り続けてきました。

すべての人が等しく尊厳をもっており、自分と家族を養うことができるようになりたいという願いは、人々に共通していると信じます。

しかし、あまりにも多くの人々が仕事を見つける機会に恵まれず、また劣悪な条件のもとで働かざるを得ないのが現状です。

救世軍は、公正な賃金と国際市場へのアクセスが可能な雇用を創出することで、人々が適切な雇用を得られるよう支援したいと考えています。

特に、女性に有給の雇用と収入を得る機会を提供することは、私たちの優先事項です。

また、農村部や都市部での経済発展を目的とした救世軍のプログラムを通じて、職人たちの支援を行っています。

女性の地位向上に焦点を当てた自助グループや、セックスワーカーや人身取引の被害者のリハビリのためのプロジェクトなどが含まれます。

OTHERS はバングラデシュとケニアで生産を行っており、最大生産国のバングラデシュは 1997 年のプログラム開始から参加しています。

バングラデシュでは現在、約 760 人の職人が生産に携わり、製品はすべて手作り、もしくは何らかの手作業を含んでいます。

生産グループには正社員もいれば、出来高払いのパート労働者もいます。これは、育児と仕事を両立させなければならない母親たちにも収入の機会を提供できるよう、包括的に対応するためです。また、職人の中には、OTHERS のために働くことが初めての有給雇用の経験となる人もいます。

職人たちは、OTHERS から得た収入で日々の生活をまかない、貯蓄、家畜、子どもの教育などに投資しています。

賃金水準は、現地の OTHERS 事業によって決定され、常に現地の最低基準を上回り、毎年規定が設けられます。

OTHERS での仕事には、より良い未来への希望、自立への道、そして何より、尊厳と誇りがあります。

OTHERS は、国際的な救世軍が、列の最後尾に位置する人々のために雇用機会を創出し続ける方法の一つなのです。

OTHERS の歴史

1990 年代半ば、救世軍はバングラデシュの女性たちが製品を作って正当な代金を得ることを学べるよう支援していました。救世軍は、彼女たちが作った製品の代金を保証し、さまざまなネットワークを通じて製品を再販しようとしていました。しかし、伝統的な製品の市場は十分に大きくないことがすぐに明らかになりました。その結果、多くの製品が倉庫行きになってしまいました。プロジェクトの資金が底をつき、彼女たちに給料を払う余裕もなくなってしまいました。しかし、この経験は、後に **OTHERS** の前身となる **Sally Ann** を発展させるための重要な一歩となりました。当時のバングラデシュの救世軍のリーダーたちは、生産と販売による持続可能な発展をあきらめませんでした。

1997 年 9 月 17 日、ダッカの小さな 2 つの部屋に、**Sally Ann** という名前の 1 号店がオープンしました。新しいミレニアムの始まりとともに、かつてのセックスワーカーやまともな職に就く見込みのない弱い立場の女性たちを含む 300 人以上が、カーペット、テーブルクロス、財布、カード、バスケット、家具などの生産に携わるようになりました。ダッカにある **Sally Ann** の店舗には、多くの人が立ち寄るようになりました。しかし、市場や購買力はまだ限られていました。

2002年、**Sally Ann** はノルウェーの救世軍とコンタクトを取り、欧米市場に合わせたコンセプトのもと、品質の強化やデザインの変更を行いました。そしてその年の内に、ノルウェーに Sally Ann1 号店をオープンしました。この店舗のオープンにはノルウェーの開発大臣が列席し、国際開発分野への革新的な貢献として賞賛されました。その後、**Sally Ann** の製品は数カ国で販売され、現在はノルウェーと一部の生産国(バングラデシュ、パキスタン、ケニア、モルドバ)に加え、デンマークと米国にも常設の販売ルートがあります。

2013年には、このコンセプトをさらに発展させるために、より費用対効果が高く、より大量に販売することに焦点を当てた販売戦略の再編成を行い、新たな一步を踏み出しました。そして、その根底にある価値観を明確に伝えるために、名称とブランドを「**Others**」と変更しました。**Others** のコンセプトは、ロンドンにある救世軍の万国本営で調整され、米国、カナダ、デンマーク、ノルウェーに常設の販売チャンネルが設けられています。製品は現在、卸売業者やチェーン店との提携、法人営業、ウェブ販売、救世軍内の販売チャンネルを通じて販売されています。生産者はすべて救世軍の現地プログラムを通じて募集されています。その他のプラス α には、村や都市のスラム街での経済開発プロジェクト、都市と農村の両方における女性グループとの活動、あるいはセックスワーカーや人身取引の被害者の更生に関する特定のプロジェクトなどがあります。**Others** は営利事業ですが、収益はすべて生産者の雇用拡大に還元されます。



OTHERS

OTHERS は、救世軍が所有する営利企業です。

私たちの働きは通常のビジネス慣習に従っていますが、すべての収益はコンセプトの発展とより多くの雇用の創出に還元されます。

商品の種類や販路によって供給が異なるため、個々の商品の価格のうち、生産者に還元される部分を特定することはできません。し

かし、価格計算の底辺には、生産者の適正な賃金が保証されています。これにより、私たちの製品は「フェアトレード」製品に匹敵する

ものになるのです。給与は現地の基準を参考に決定され、定期的に見直されます。

OTHERS の最大の目標は、雇用を創出することです。そのコンセプトの核となるのは、購入した製品の一つひとつが、他の方法では機

会に恵まれない人々のために、公正な報酬を得られる仕事を生み出すことに貢献することです。

生産部門は、多くの場合、救世軍の地域開発プログラムと連携しており、生産者は必要なカウンセリングや支援を受けています。



OTHERS は、次のような価値観と原則に基づいています。

1. OTHERS は、救世軍の価値観に従って運営されます。これには、すべての人間に対する配慮と尊重が含まれます。
2. OTHERS の取引活動は、連帯感、平等、公平を特徴とします。
3. OTHERS の製品は、可能な限り、開発途上国の救世軍の活動を通じて調達されます。
4. OTHERS で働くすべての生産者には、公正な報酬と生活の質を向上させるための支援が与えられます。OTHERS は、生産者が OTHERS 以外の健康で安全な選択肢の機会を得て、独立した生活を発展させることができるようにすることを目指します。
5. OTHERS は、その目標を達成するために最も適切な企業を選択するよう努めます。OTHERS は、フェアトレードを推進するために企業に影響を与えます。
6. OTHERS は収益性を重視した活動を行い、収益性は資源の入手、開発、経済の持続可能性を確保するために必要です。
7. OTHERS は、すべての活動において、オープンであることを特徴とします。



Bangladesh

1997年から続く、希望の貿易

OTHERS は、1997年にバングラデシュで貧困削減のための地域活動 Sally Ann として始まり、現在では約 760 人の職人(女性・男性)が参加しており、最大の生産国となっています。

OTHERS バングラデシュでは、手織り製品、刺繍製品、ジュート製品、木製品、天然繊維・葉製品、ニット製品など、さまざまな製品を製造しています。

生産グループには、首都ダッカ周辺や中部、西部の多くの村にある女性グループ、ジャシヨール市にある手織りユニット、大工ユニット、縫製ユニットがあります。

職人の一部は、救世軍が運営する特定のコミュニティ開発プロジェクトを通じて採用されています。例えば、オールドダッカにある救世軍のリハビリセンターでは、人身取引や搾取の被害に遭った女性に全人的なケアとトレーニングを提供しています。

OTHERS の活動は、バングラデシュにある救世軍の現地チームと、救世軍万国本営が運営する「OTHERS GLOBAL」ネットワークの協力によって支援されています。



Kenya

1999年から始まった希望の貿易

OTHERS は 1999 年に初めてケニアと関わりをもち、2004 年からはいくつかの生産者グループと正式な関係をもつようになりました。現在、都市部と農村部にある 9 つの生産グループと連携しています。製品は、現地で入手可能な原材料と職人の技術によって作られており、ビーズやワイヤー製品、サイザル麻や葉を使った製品、プラスチックや紙などのリサイクル素材を使った製品などがあります。

また、ほとんどの職人は、現地で救世軍が監督する貯蓄貸付グループと連携しています。2020 年、ケニアとの協力関係は拡大し、マトウングル地域の小規模コーヒー農家も対象となりました。最初のコーヒーは 2020 年のクリスマスにノルウェーで発売され、マトウングル農家の生活水準を向上させるための長期的な協力関係を築くことを目標としています。



others

**TRADE
FOR
HOPE**

